

**東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた診療情報等を
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

肝細胞がんに対するレンバチニブの有用性と生存期間に寄与する因子の多施設共同研究

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、進行肝細胞がんに対するレンバチニブの有用性を解明することを目的とした共同研究を実施するためです。

【研究の対象となる方】

2009年1月1日から2018年3月31日までの間に、当院の消化器内科で肝細胞がんに対してレンビマ（レンバチニブ）またはネクサパール（ソラフェニブ）による治療を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日から2025年3月31日まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

・診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像、心電図）

【情報の提供先・提供方法】

上記の診療情報等をレンバチニブの有用性を解析のために、研究代表施設／横浜市立大学へ郵送・電子的配信にて提供します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：横浜市立大学附属病院
- 研究統括責任者：消化器内科 主任教授 前田 慎

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

研究分担施設	研究責任者
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科 診療教授	沼田 和司
聖マリアンナ医科大学病院 消化器内科 講師	渡邊 綱正
北里大学病院 消化器内科 診療教授	日高 央
旭川医科大学 肝胆膵・移植外科 准教授	横尾 英樹
愛媛県立中央病院 消化器内科 部長	平岡 淳
湘南鎌倉総合病院 消化器病センター 顧問	賀古 眞
湘南藤沢徳洲会病院 胆肝膵・消化器病センター 部長	藤川 智章
秦野赤十字病院 消化器内科 院長	田中 克明
神奈川県立がんセンター 肝胆膵内科 部長	森本 学
神奈川県立足柄上病院 消化器内科 副院長	加藤 佳央
横浜南共済病院 消化器内科 部長	近藤 正晃
済生会横浜市南部病院 消化器内科 副院長	川名 一朗
横須賀市立市民病院 副院長	小松 和人
大和市立病院 消化器内科 上級医長	山本 和寿
藤沢市民病院 消化器内科 部長	岩瀬 滋

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2225）

研究責任者 消化器内科 加川 建弘